愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

体育科教育や子どもの健康（運動遊び）について、自らの興味・関心から課題を見つけ、それを基にゼミで取り組む研究テーマの設定を行う。研究テーマに基づいて、資料収集や調査方法の手法を実践的に学ぶ。これら一連の活動を通して、自らの考えを根拠をつけて説明する力、仲間と協力して活動する対人関係能力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	体育科教育、子どもの健康（運動遊び）における基礎知識、技能を学び、その課題に対しディスカッションやグループワークを用い、必要に応じてフィールドワークを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（全体の方針、前期の予定）	履修登録の確認、シラバスの説明を行う。授業のねらいと授業計画を理解し、自らの課題を明確にする。	□
第2回	文章の書き方、個別面談	文章の書き方について、新聞等の記事内容について意見交換する。個別面談を行う。	□
第3回	研究論文と作文や感想文との違い	論文と作文や感想文との違いを理解し、研究は何のためにどのように行うのかを知り、大学生が研究する意味をディスカッションを通して理解する。	□
第4回	ゼミ課題の設定	大学生活を振り返り、個々に成果と課題を整理し、興味関心から、ゼミのメンバーで協働して取り組む研究テーマを決める。	□
第5回	研究方法・研究計画の立案	研究テーマに沿って、研究方法・研究計画を立案する。	□
第6回	本の読み方	資料収集するにあたり、基本となる本の読み方を文献から理解し、実践的に学ぶ。	□
第7回	ゲストスピーチ	専門分野で活躍するゲストスピーカーの講演を行う（レポート作成）。	□
第8回	スポーツ大会の計画と準備	スポーツ大会の計画と準備をグループで行う。	□
第9回	スポーツ大会の実施	スポーツ大会をゼミメンバーと協働して取り組み、対人関係能力を養う。	□
第10回	図書館の利用法および情報検索ガイダンスによる文献資料の検索	資料収集するにあたり大学の図書館や国会図書館・地域の図書館の使い方を再確認するとともに、文献資料の検索方法（文献検索：OPAC,NDL,CiNii等）や、記録の方法を実践的に学ぶ（レポート作成）。	□
第11回	文献資料検索結果の交流	文献資料の検索結果を、ゼミ内で交流する。	□
第12回	観察法・フィールドノーツの書き方の理解	フィールドワークの調査方法・観察法・フィールドノーツの書き方を知る。	□
第13回	フィールドワーク・現地調査	フィールドワーク・現地調査を行う。	□
第14回	結果の交流	フィールドワークによる記録を交流する。	□
第15回	レポート作成	文献検索・フィールドワークによる結果を研究テーマに沿ってまとめる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として次回の授業テーマに関連する内容について資料をまとめる（2時間程度）。 ・事後学習として、授業でわかったことや疑問に思うことなどをノートに整理するとともに、出された課題レポートをまとめる（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートは添削して返却する。その上で、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	研究に関する基礎知識、資料収集や調査方法の手法を理解し、それらの結果をもとに自分の考えを構築したり修正したり深めたりできる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	研究のテーマを仮説的に設定でき、先行文献調査をもとに分析し自らの考えを根拠をつけて説明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	体育科授業や子どもの健康などの問題を研究課題として関心をもつことができる。仲間と協力して活動する中で、他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて講義時に配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて講義時に紹介する。	
2		
3		
4		
5		